

# 奥田玲子 学位論文審査要旨

主 査 萩 野 浩  
副主査 南 前 恵 子  
同 深 田 美 香

## 主論文

Changes resulting from reflection dialogues on nursing practice

(看護実践についての対話リフレクションによってもたらされる変化)

(著者：奥田玲子、深田美香)

平成26年 Yonago Acta medica 掲載予定

## 参考論文

1. 対話リフレクションによる臨床看護師の学びの構成要素と学びを促進するファシリテーターのかかわり

(著者：奥田玲子)

平成24年 国立病院看護研究学会誌 8巻 2頁～13頁

## 審 査 結 果 の 要 旨

本研究は、臨床看護師を対象に、対話リフレクションによってもたらされる看護実践の回顧的な思考過程の変化を、自己リフレクションとの比較により検討したものである。その結果、対話リフレクションは語りを促進するだけでなく、次なる看護実践にむけた自己の課題の発見、自分の看護行為に対する意味の付加や拡充をもたらすことが確認できた。医療現場の看護師を対象とした対話リフレクションに関する研究報告は少なく、他者との対話によるリフレクションの効果を明らかにした本論文の内容は、対話リフレクションが看護師の専門的成長に役立つものとして有意義な方法であることを示したものであり、明らかに学術水準を高めたものと認める。